

## 第 51 回 旧 RD 最終処分場問題連絡協議会の開催結果

■日 時 令和 6 年 1 1 月 2 5 日 (月) 19:00~20:30

■場 所 栗東市コミュニティセンター治田東 (栗東市安養寺 205)

■主な質疑・ご意見(⇒県の回答、→栗東市の回答)

## 1 前回の開催結果の確認について

①紹介された四日市市大矢知・平津事案は、利水がない場合は結局何の再評価も行わないということになっている。この考え方を RD 事案にも踏襲したいと考えているのか。

⇒あくまで全国的な事例の紹介である。RD 事案で使うとかの話ではない。

## 2 令和 6 年度第 2 回モニタリング調査結果について

②電気伝導度がちょっと高いのではないかということから、こういう資料を集めていただいたと思う。電気伝導度が高いところの例を持ってきたのか。

⇒電気伝導度は公表されていない事案もある。電気伝導度に着目して管理されている事案がこれだけだったので、今回紹介した。

③RD 事案においては利水をしているかいないかに関わらず、データによって対策を取ることはあるのか。

⇒そうである。

④H26-S2(2)は環境基準を超えた異常な状態にあるわけで、たまっている水をくみ上げるのが一番簡単ではないのか。

⇒環境基準はあくまでも目標値であって、一部の温泉や海水のほう素は環境基準よりも高い値であり、基準超過自体が問題だということになっていないため排水基準を超過したらどうするかというところになってくる。県が実施してきた対策は生活環境の保全上の支障の除去が目的である。対策前に漏出した浸透水の影響だと考えられる状況にあることから、有害物調査委員会でお答えいただいた対応を取っており、それを踏まえてモニタリングを実施している。さらに説明にもあったように地下水量が少なくすぐに干上がってしまい、たまってい

る地下水のくみ上げ量を井戸から確保できない状況である。

3 維持管理の状況について  
特に意見等なし

4 アーカイブ総括編について

⑤栗東市始まって以来のデモがあった。そのデモのことは書き込んでもらいたい。町長とRD社の関係性も記載して欲しい。

→過去の分を調べ、正確な記載に心掛ける。次回、ある程度の内容を提示できるよう努力する。

⇒書き方は検討するが、個人情報については基本的には記述しない原則としたい。親族関係まで公表するのは考える必要がある。

⑥連絡協議会で疑義の意見や再度のヒアリング実施の要望があっても、再度実施しないとあるが、もう一回してもらって検討はできないのか。

⇒今回のヒアリングは法令に基づいて報告、聴取を求めるものではなく、ヒアリング自体を受けたくないと断られることも想定される。もちろん聞き取りをする際には、なるべくたくさん情報が出るように努めたい。

⑦知事の意見も聞くべきだと思うが。

⇒去年の連絡協議会でも回答したが、知事の発言は、記者会見等でオフィシャルなものとしてオープンになっており、基本的に入れないことで考えている。

⑧県はどの程度の資料をもっているのか。新聞記事は全部ストックされているのか。

⇒過去の新聞記事の切り抜きを年度ごとに整理している。今のところ参考資料の中で新聞記事を直接引用した箇所はないが、参考にしながら進めていく。

⑨アーカイブはいつ完成するのか。完成までに、何かいい情報があればうまく活かして行ってほしい。

⇒来年度末(2026年3月)に原稿案を完成させる。そこから印刷にかかる。連絡協議会の場に限らず、何かアーカイブについて意見があれば、随時いただき、それも踏まえて原稿案を修正していきたい。